

Sustainability Report 2024

福井鉄螺グループ サステナビリティレポート

福井鉄螺株式会社は、 持続可能な未来の実現に向けて、 SDGs17ゴールの達成に貢献することを ここに宣言します。

その一環として、**気候変動への具体的な対策（SDGs目標13）**に取り組み、2025年には、太陽光発電および水力発電由来の再生可能エネルギーによる電力に限定した調達を実現し、Scope1・2排出のカーボンニュートラルを達成します。これからも私たちは、ものづくりを通じて、社会・環境・地域との共生を目指し、SDGsの各目標の実現に向けた活動を継続してまいります。

CONTENTS

SDGsとは	3
福井鉄螺のSDGsへのアプローチ	4
SDGs目標達成に向けた具体的な取組み	5
クリーン技術及び環境に配慮した技術の拡大	6
子供の未来へつながる取組み	7
働き甲斐のある人間らしい仕事を提供する	8
男女に関係ない個々の能力を活かす環境を提供する	9
地元に貢献し持続可能な環境を提供する	
TOPICS – SDGs 関連活動	10
環境への重点活動テーマ	11
CO2削減取り組み事例	12
福井県「カーボンニュートラル推進企業 ビジョン部門」受賞	13
Scope3と連携した脱炭素取組	
産業廃棄物廃棄率	14
TOPICS – 改正省エネ法の事業者クラス分け評価制度	15
10年連続「Sランク」評価獲得	

(報告対象)

対象組織：福井鉄螺株式会社

対象期間：2024年度（2023年12月21日～2024年12月20日）

SDGsとは？

SDGs（エスディージーズ：Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された国際目標です。

2030年までに持続可能なより良き世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取組むべきユニバーサル（普遍的）目標として、日本国内でも積極的な取組みが進められています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

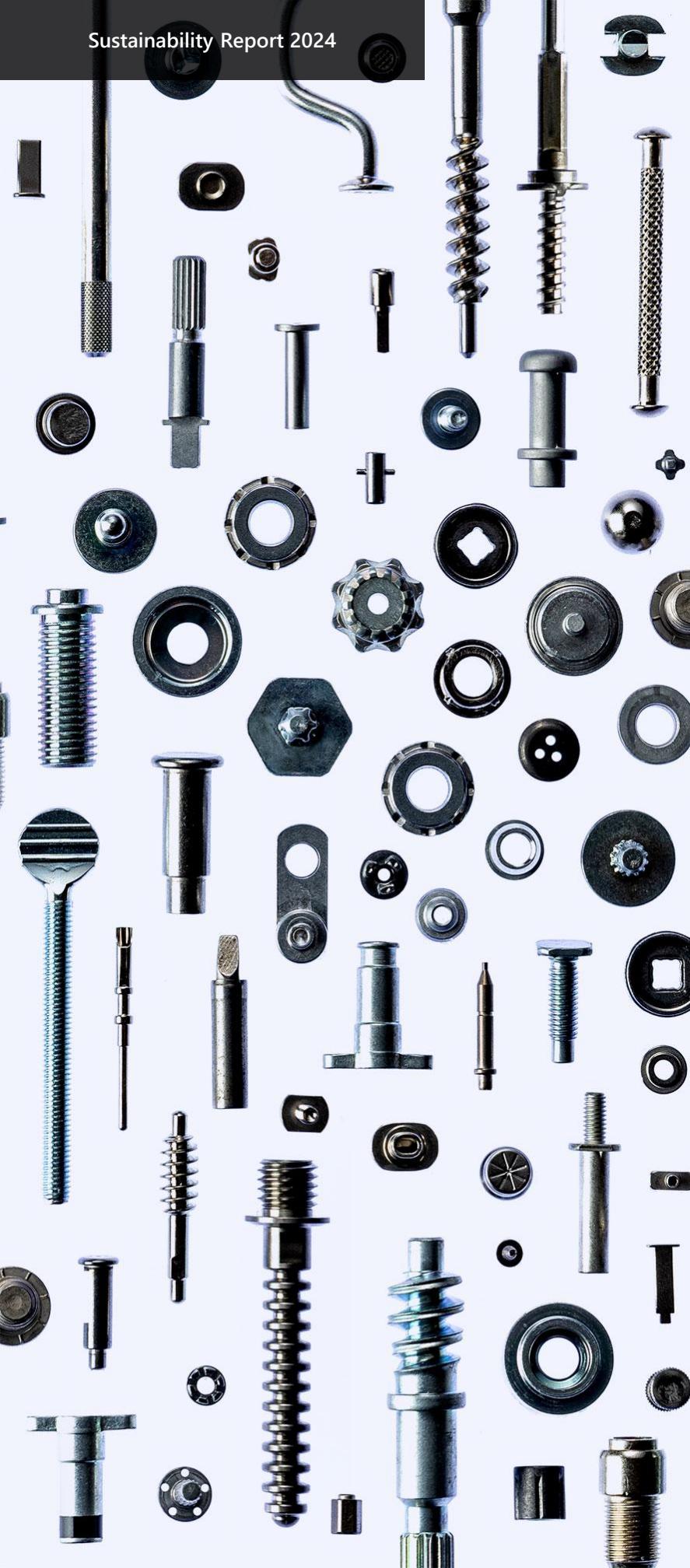




福井鉄螺のSDGsへのアプローチ

福井鉄螺株式会社は、創業から60年以上にわたってお客様と共に歩み続けてきました。その福井鉄螺の技術は、さまざまな業界のお客様からいただいた数多くのご要望によって育てられ、磨き上げられてきました。これからも福井鉄螺は、「冷間鍛造技術」をコアテクノロジーとして、お客様が抱えるニーズの実現を目指して挑戦を続けることによって、多岐にわたる分野でのSDGsの達成に貢献してまいります。

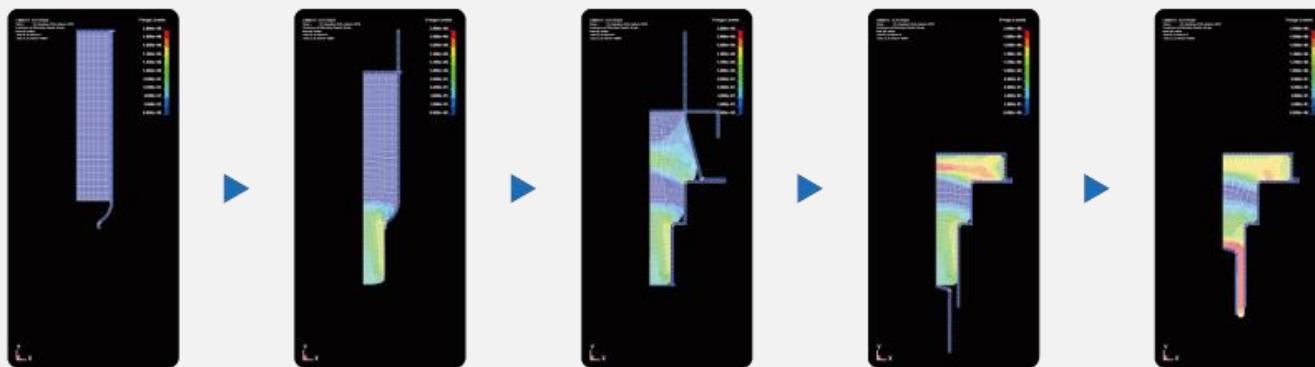




SDGs目標達成に向けた具体的な取り組み

環境に優しい冷間鍛造技術

福井鉄螺の基幹技術である冷間鍛造技術は、常温（室温）環境下で金属に圧力を加え、変形させながら高速加工を行う技術です。



切削加工の場合

45%



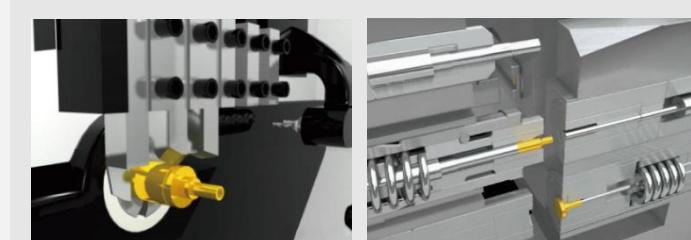
冷間鍛造の場合

100%



材料利用効率の比較

金属を削らずに加工を行う冷間鍛造技術は、材料の利用効率が高く、製造途中に材料のロス（削り屑等の金属廃棄物）がほとんど発生しません。このような特長から冷間鍛造技術は、「環境に優しく、合理化に強い」加工技術と呼ばれています。



切削加工の場合

4.5 個 / 分

冷間鍛造の場合

100 個 / 分

生産スピードの比較（段付きリベットの場合）

福井鉄螺では、冷間鍛造技術の特長を最大限活かした新製品開発を行うことにより、材料の有効利用や高速生産化を推し進め、事業活動を通して世界的規模での「CO₂排出量削減」に貢献していくことを目指しています。



01 — クリーン技術及び環境に配慮した技術の拡大

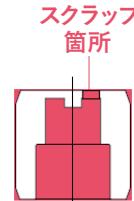
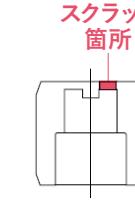
環境に優しいものづくり



新規顧客とのグローバルパートナーシップ関係強化により、脱切削部品（CO₂の削減と原材料の有効利用）への展開を図る。

目標

社内目標値の達成

Before	After
切削加工	100% 冷間鍛造化
スクラップ箇所 	スクラップ箇所 
1個当たり 2.9gのスクラップが発生	金属スクラップ 9.9t / 年 削減

製造工法の見直しによる
金属スクラップ（CO₂排出量）の削減

Before	After
プレス加工 + 冷間鍛造 + 2部品を接合 = 計3工程	冷間鍛造 1工程化 ※一体化（1部品化）加工
 Pressing time, scrap occurs	 Metal scrap 10.1t / 年 削減

工程設計の見直しによる製造工程数と
金属スクラップ（CO₂排出量）の削減

不良率低減による金属廃棄の低減



冷間鍛造の技術革新により不良率を低減し、
金属廃棄量の低減につなげる。

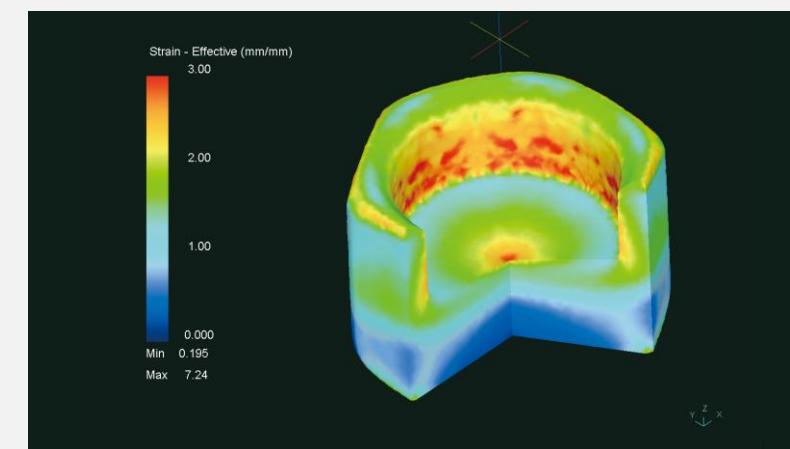
目標

2030年までに製品金属廃棄量
15% 削減

※ 2019年度生産量比



冷間鍛造の技術革新による不良率低減



FEM解析を活用した効率的な新製品開発

02 — 子供の未来へつながる取組み

社員教育体制強化による社員のレベルUP



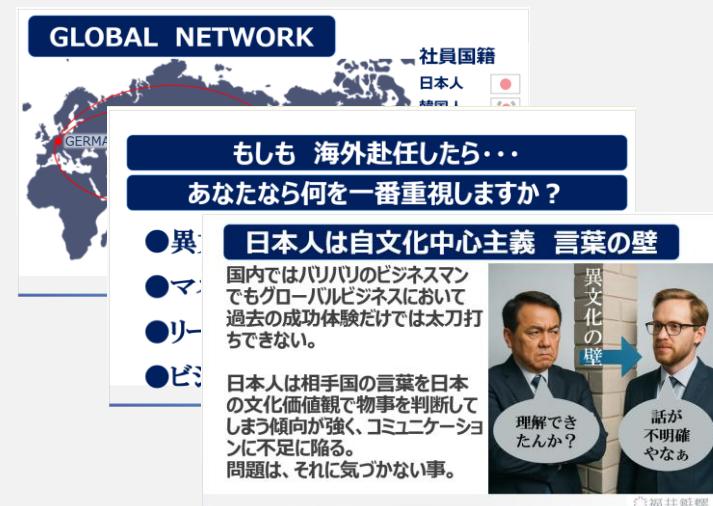
CSR、SDGsやグローバル人材教育に関するカリキュラムを充実し、教育制度を強化することで、世界に目を向けたレベルの高い人材に育成する。

- ・ 教育カリキュラムによる教育制度の構築およびレベルUP
- ・ 階層別教育の実施

目標

- ・ グローバル人材の育成
- ・ 2024年新カリキュラムの構想、
2025年実施・運用

● FBT赴任者への教育



FBTへの赴任者への教育をおこなっています。

● CSR&SDGsカリキュラム追加、改訂



CSRに関する社内研修資料の見直しを行っております。
またSDGs研修を全社員に展開しています。

小・中・高・大学生の工場見学受入れ



「ものづくり」への関心を持ってもらうことで、次世代を担う人材育成に寄与するために、小・中・高・大学生の工場見学を受入れする。

目標

全校受入れ

● 工場見学の受け入れ

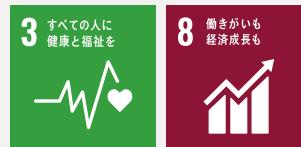
工場見学の受入れを行いました。2023年度は、5校の学生の皆様にご来社いただきました。





03 — 働き甲斐のある人間らしい仕事を提供する

健康で働き続けられる職場環境づくり



健康で働き続けられる職場環境づくりのために、社員の健康保持活動、健康への配慮を行う。

- ・長期休暇制度の取得推進を図り、社員のリフレッシュを促すと共に年次有休5日取得の義務を果たす。
- ・勤務間インターバル（10時間）の導入を図る
- ・男性社員の育児休業の促進を図る等

目標

男性の育児休業取得率のUP

● 有給休暇取得率の向上

有給休暇がより取りやすくなるよう、仕組みや環境の整備を行い、取得率向上に取り組んでいます。

年次有給休暇及び長期休暇取得率の推移

年度	2022年	2023年	2024年
年有休 取得率	65 %	71 %	69 %
長期休暇 取得率	75 %	74 %	73 %

※2020年度はコロナ禍による休業対応のため取得率は減少。

● 男性の育児休業取得推進

2022年育児介護休業法改正に伴い、育児休業関連制度の研修を動画で受講できるよう環境整備を行いました。

育児休業取得率の推移

年度	2022年	2023年	2024年
男性取得率	40 %	50 %	77 %
女性取得率	100 %	100 %	100 %

全社員の豊かさを向上



技術開発企業を目指し、高付加価値、高収益を達成することにより、全社員の豊かさを向上させる。

目標

全社員の人事面談により、 社員満足度をUPさせる

● 人事面談の実施

社員満足度の向上のため、年間を通して計画的に人事面談を実施しています。

人事面談実績

年度	2022年	2023年	2024年
面談人数	167人	162人	156人

● 社内コミュニケーションの活性化

LINEで気軽に
相談してみませんか？

相談や質問などなんでもOK！

働き甲斐向上に向けた活動として「職場交流会助成制度」を設けています。部署内の親睦会に対し、飲食代の一部を会社が補助しています。また、社員が困ったときに気軽に相談ができる環境を目指し「福井鉄螺チャットルーム」を開設しています。チャットルームのQRコードを記載した名刺サイズのカードを配布しています。また匿名性を保った投稿もできるようになりました。



04 — 男女に関係ない個々の能力を活かす環境を提供する

ジェンダー平等の実現



ジェンダー平等の実現のため、
下記2点を推進する

- ・ 技術職、機械オペレーターでの女性社員採用
- ・ 性別に関係ない能力による役職者登用

目標 職務範囲を拡大の上、
職場環境を整備し配属する

● 開発職、機械オペレーターでの女性社員採用

年度	2022年	2023年	2024年
人数	1人	1人	1人



● 性別に関係ない能力による役職者登用

リーダー以上の役割を担う女性社員が活躍できる環境の整備に努めています。リーダーは、担当ユニットのメンバーをまとめ、将来の役職者候補として評価や面談を行います。

女性役職者数の推移

年度	2022年	2023年	2024年
人数	12人	10人	12人
割合	10.2 %	8.4 %	11.0 %

05 — 地元に貢献し持続可能な環境を提供する

地域雇用にて貢献



現地生産体制の強化を図ると共に、
地域からの雇用を促進し、地域に貢献する。

目標 事業所（福井県、石川県）
での継続採用

● 地元地域からの積極採用

新卒及び中途採用において、事業所のある福井・石川県より積極的に採用しています。また、地元中学校の職場体験も受入れています。



地元地域からの採用者数の推移

年度	2022年	2023年	2024年
福井県	22人	14人	9人
石川県	3人	10人	10人
合計人数	25人	24人	15人
割合	100 %	100 %	100 %

TOPICS – SDGs 関連活動

●被災地支援として石川県羽咋市に寄付



4月12日、令和6年能登半島地震に際して、被災地である羽咋市を支援することを目的に「企業版ふるさと納税」制度を利用して1000万円を寄付しました。



●あわら市福祉社会協議会に食品寄付



あわら市社会福祉協議会を通じ、地域の子ども食堂や、ご家庭に向けたフードバンク活動として、食品の寄付を開始いたしました。



●子ども服寄付プロジェクト



8月、福井市の「森のようちえん 風のいろ」様ならびにフクイビヨウラタイランドの協力のもと、タイの児童養護施設を慰問し、寄付を行いました。



●「ふくい女性活躍推進企業プラス」に登録



女性の活躍推進に向けて積極的に取り組む企業として「ふくい女性活躍推進企業プラス」に登録されました。



●海と渚のクリーンアップ活動



10月26日、あわら市波松海岸で行われました「あわらの海岸をキレイにしよう」に参加しました。

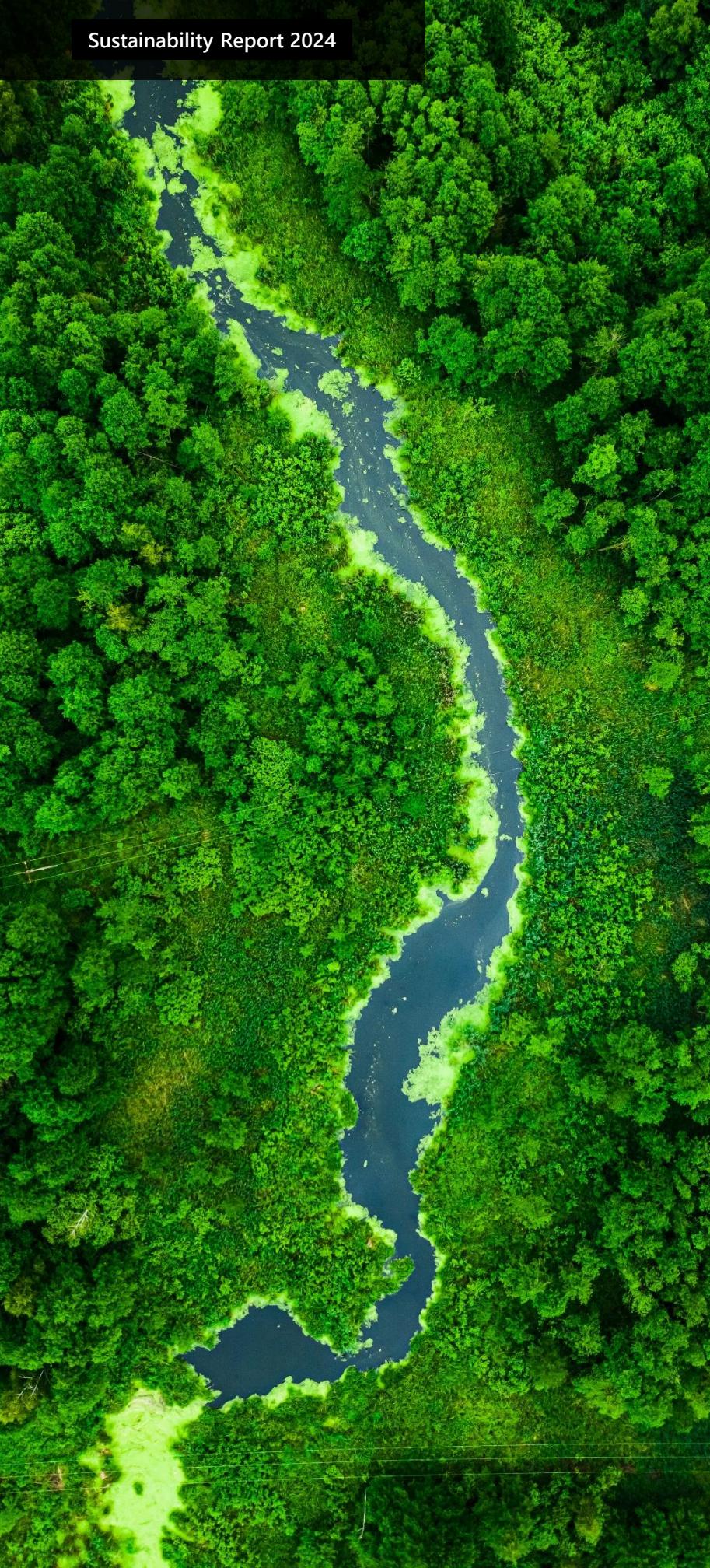


●ベジチェック



10月12日、社内スポーツイベント内で野菜の摂取量を計測する「ベジチェック」の模擬店を出店しました。





福井鉄螺：環境への重点活動テーマ

当社は、環境に対するSDGsのゴールにつなげるための具体的な活動目標として、経営方針（環境方針）の中に3つの「重点活動テーマ」を掲げ、事業活動全体を通して2030年までの目標達成を目指しています。また、2021年実績を元に目標値の見直しを行いました。特に、CO₂排出について「2030年までにカーボンニュートラルを目指す」に改訂し、地球温暖化防止を図っていきます。



CO₂排出

カーボンニュートラルを目指す

(2025年までに2013年CO₂排出分をカーボンニュートラル)

【具体的な活動】

- ・太陽光パネルの設置
- ・リモート会議、テレワークの推進
- ・デマンドコントロールシステム 等



産業廃棄物廃棄率

70%削減

(2013年売上原単位比)

【具体的な活動】

- ・3R徹底等

3つの 重点活動 テーマ



環境緊急事態発生 ゼロの継続

※環境緊急事態 = 油脂等の外部への漏えい
(2020/4/6 ~ 2030/12/31迄)

【具体的な活動】

- ・予防処置取組み
- ・内部監査の強化
- ・油脂保管施設の点検

環境への重点活動テーマ（SDGs 取組み）

2024年度 CO₂削減取組み事例

太陽光発電設備を導入 (能登工場)

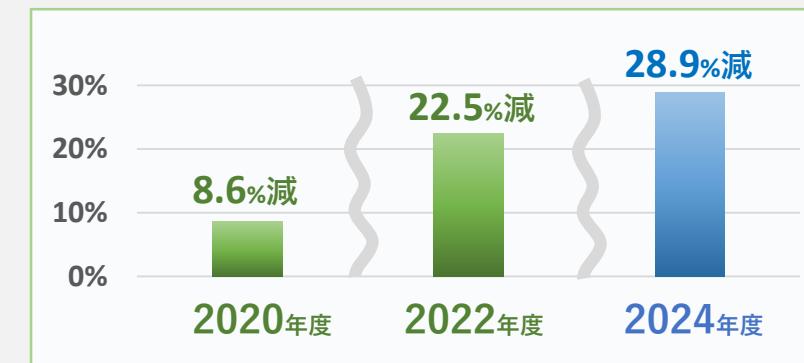
脱炭素社会の実現に向けた温室効果ガス排出量削減への取り組みの一環として、AOIエネルギーソリューション株式会社との契約（※PPAモデル）を締結し、弊社能登工場（石川県羽咋市）に、第4弾となる太陽光発電設備を設置。2024年10月1日より運用を開始しました。

※ PPA(Power Purchase Agreement)
= 自家消費型 太陽光電力供給契約



能登工場

【CO₂排出率】(2013年売上原単位比)



年度	2020年	2022年	2024年
2013年比	- 8.6 %	- 22.5 %	- 28.9 %

カーボンニュートラルへのロードマップ



環境への重点活動テーマ（SDGs 取組み）

福井県「カーボンニュートラル推進企業」において「ビジョン部門」を受賞

福井県主催で開催された「福井県カーボンニュートラル推進企業表彰」（※）の表彰式にて当社の取り組みが、「ビジョン部門賞」を受賞しました。昨年の大賞に続き、2年連続の受賞となりました。今回の受賞について、当社の取り組みの中で、以下のポイントを評価いただきました。

- ・2025年に2013年度比カーボンニュートラルを必達する事を掲げ、中長期計画（ロードマップ）の下、再エネ、省エネ活動を推進していること。
- ・Scope3と連携した省エネ活動を協力会社に寄り添って活動を推進し、サプライチェーン全体での脱炭素推進を先進的に実施していること。
- ・北陸、東海3県で初めて、環境省主管の”SHIFT補助金 企業間連携先進モデル支援部門”に採択されたこと。

これからも福井鉄螺グループは、持続可能な社会の実現に向けての貢献ができるよう事業を通じて、様々な分野での取り組みを進めてまいります。



※ 福井県内で、先進的にカーボンニュートラルの取組みを行っている企業を応援することを目的に、応募企業の中から選定された企業に対し「カーボンニュートラル推進企業」として表彰を行う

Scope3と連携した脱炭素取組

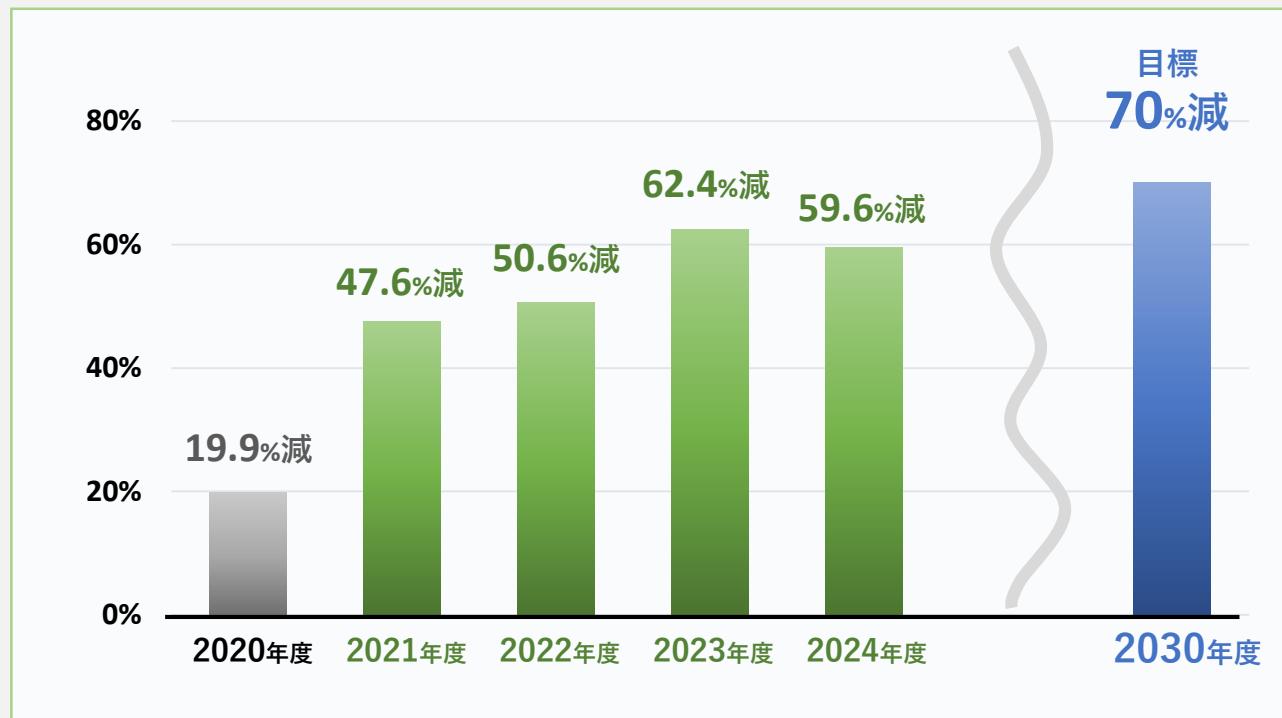
当社お取引様である愛三工業様より、脱炭素取組活動を共に行っていきました。愛三工業様とのお声掛けを頂き、当社関連設備でのエアー漏れ調査、エアーフロー調査等を寄り添い活動の中で推進頂きました。この流れで、当社仕入外注先である石川メッキ工業様、ワイヤーテクノ様へお声掛けし、愛三工業様からご教授頂いた内容にて展開を図り、脱炭素取組活動における重要性、有効性等を実感頂きました。また、石川メッキ工業様、ワイヤーテクノ様を連携企業とし、環境省「SHIFT補助金③企業間連携先進モデル支援部門」へ応募し、北陸/東海3県で初の採択を頂きました。当社では、太陽光発電、エアコン、コンプレッサーを新設し、年間480t-CO₂の削減に寄与します。2025年度は、Scope3連携企業を更に3社増やし、寄り添い活動による脱炭素取組を推進します。



環境への重点活動テーマ（SDGs 取組み）

産業廃棄物廃棄率

【産業廃棄物廃棄率】（2013年 売上原単位比）



年度	2013年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
原単位	61.6	49.6	33.0	30.4	23.2	24.9
2013年比	—	- 19.9 %	- 47.6 %	- 50.6 %	- 62.4 %	- 59.6 %

(原単位 : kg / 売上)

TOPICS — 改正省エネ法の事業者クラス分け評価制度 10年連続「Sランク」評価獲得

当社は、経済産業省 資源エネルギー庁が定める改正省エネ法の事業者クラス分け評価制度で10年連続「Sクラス」評価をいただきました。

●事業者クラス分け評価制度とは？

省エネ法の定期報告を提出する全ての事業者をS・A・B・Cの4段階へクラス分けし、クラスに応じたメリハリのある対応を実施するための制度です。Sランクは省エネが優秀な事業者（目標達成事業者）で、5年平均原単位を年1%以上低減すること等が条件になります。11年連続Sランク評価をいただくよう、2025年度も引き続き省エネ活動を強化していきます。

標準 産業分類 中分類	特定 事業者 番号	主たる 事業所の 所在地	事業者等名番号	省エネ評価										2024 年度
				2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	
24 金属製品製造業	104751	福井県	福井鉄螺株式会社	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆

※「省エネ評価」欄：Sクラス評価に「☆」を記載